

広報

いまり

市の人口

2月1日現在

総人口 59,585 人

男 27,929 人

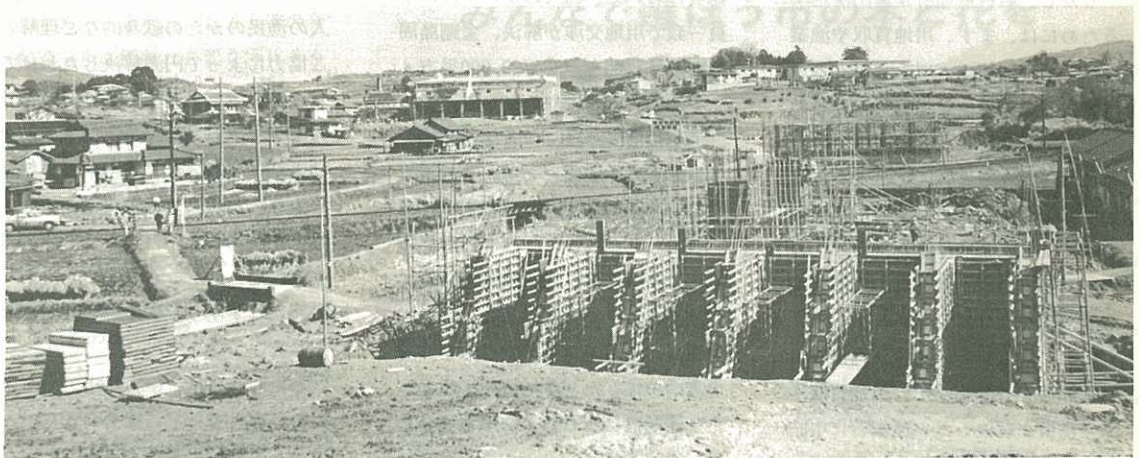
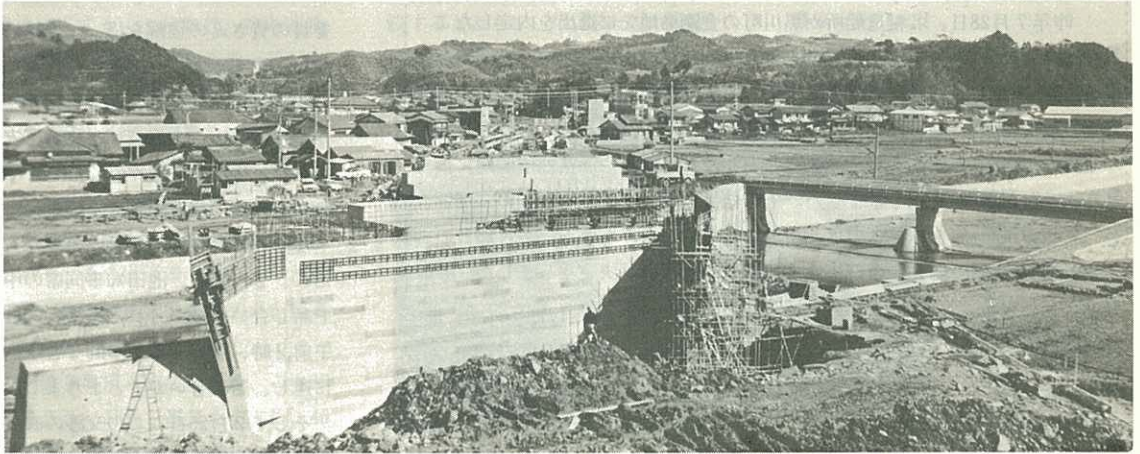
女 31,656 人

世帯数 14,779 世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部5円 昭和47年3月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 217



国道 202号線バイパスは、大坪町
祇園町三叉路の起点から、坂口台地
にかけて建設工事が始まり、現在伊
万里川にかかる橋や筑肥線の立体橋
工事が着々と進められています。

本年度は県道伊万里～武雄線まで
来年度に坂口台地付近まで開通する
計画です。(写真 上が六仙寺側か
ら祇園町方面・下は坂口台地から県
道伊万里～武雄線にかけての工事の
もようを2月15日写したものです)

広報こよみ

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 5日 黒川公民館落成式
市連婦人会総会(市民会館) | 28日 交通事故相談(市民生活室) |
| 7日 消防記念日 | ※つごうによって変更することが
あります。 |
| 14日 交通事故相談(市民生活室) | |
| 16日 無料法律相談() | |
| 18日 中学校卒業式 | |
| 20日 春分の日 | |
| 22日 小学校卒業式(滝野は18日) | |
| 25日 電気記念日 | |

47 **3** 月

伊万里
湾漁協

の漁業補償など円満解決

関係者のご理解と協力のおかげ

昨年7月28日、名村造船所が黒川町の金剛島地先に進出を内定したことを契機に、県・市はこの一帯を伊万里湾開発の拠点とすべく、同造船所の用地を含め約140万平方メートルの工業用地を造成する計画を立てました。この計画を達成するために県・市は、昨年12月をはじめから数10回にわたり、土地所有者や漁業者のかたがたと土地や漁業補償問題について話し合いを進めてきました。その結果、関係者のかたがたのご理解とご協力の一部を除きこのほど用地交渉が妥決をみたほか、2月25日の伊万里湾漁協の総会において漁業補償問題も円満解決いたしました。

名村造船所誘致の成否は、伊万里市の浮沈にかかわる大事業であり県市は一体となってこの誘致を成功させるために全力をつくしています。

しかし、名村造船所が進出決定するためには、まず、用地買収や漁業補償・七つ島周辺の埋立に伴う港湾整備計画の変更・新造船所の建設のための国の認可と4つの問題を解決しなければならないことになっています。このうち港湾計画変更については、すでに県で作業を終わり、昨年12月16日に開かれた国の港湾審議会でも承認を受けました。

また、新造船所の建設計画は、名村造船所で計画を終了、用地買収や漁業補償が解決しだい運輸省に申請する運びになっています。

いっぽう、県が計画している名村造船所用地（50万平方メートル）を含む140万平方メートルに及ぶ七つ島工業団地の用地買収は、県から市

に委託され、昨年12月3日から地主のかたがたと交渉にはいりましたが地主の皆さんの積極的なご理解とご協力によって、さる1月16日の地主総会において、66人のかたがたの全員一致で用地交渉が解決、金剛島周辺の山林、畑など36万9,000平方メートルの買収が成立しました。

漁業補償交渉は、伊万里湾漁協と波多津漁協を別個に交渉をもち、まず、伊万里湾漁協との話し合いにはいりました。しかし、はじめの交渉では、のり漁場を補償対象にいれていなかったために関係者の一部反対もあり、その後、全国でもめずらしい湾内のほとんどを補償の区域とした全面補償に切り替え交渉を再会しました。

交渉は、組合員の中から選ばれた交渉委員（22人）と県・市側との間で徹夜の交渉が続けられ2月11日に至り「市の発展のためなら」と交渉

委員の皆さんの理解を得、一応補償額の決定をみました。しかし、補償が決定したとはいえ、漁業者のかたがたは、こんごの転業に対する不安もあり、生活の不安がなくなるまでの一定期間の操業延長など転業に対する問題について再び県と交渉がもたれ、2月16日、池田知事同席の中で話し合いが進められた結果、同日午前2時、双方とも基本的な合意点に達し、話し合いがまとまりました。

そして2月25日、この交渉の成否をかけた組合員総会が開かれ、227人の漁民のかたの献身的なご理解とご協力によって円満解決したわけです。黒川伊万里湾漁協長はいさづの中で「伊万里市民の造船所の誘致によせる期待の大きさと市長の熱意により、われわれは永久に海を去ることを決意した」と述べ長い間海を生活の場としてきた漁民のかたがたの間にはすすり泣きの声さえ聞かれました。

わたしたちは、伊万里市の発展のために礎となってご協力いただいたこれら土地提供者や漁民のかたがたに対する感謝の念を決して忘れてはならないと思います。また、県・市もこんご転業対策などについては万全の努力をはらう覚悟です。

い時こそ自分に最もふさわしい自然の試練として、そのことをプラスのほうに生かしていることのできる人は、あきまわである。「どうして」こんなことばかり起るのであるのかと投げかけては、いつまでもその「どうして」がつかまどつてくる。「こうして」わたしは力をつけられると取り組むところに「こうして」解決の策が生まれる。

もと若乃花の二子山親方が「心・技・体」という本の中で「失敗は再起不能ではない。再起不能ということは失敗した時にやり直す気力、立ち直る根性があるかないかで決まる」といつているように、人生における成否の原因は、おおむね自分にあることを知らなければならぬ。

三月は卒業期。中学・高校から若人が社会に巣立って行くが、自分の身のまわりには、ささいなことの中にも教訓があるということと、そしていかなる場合でも変わらない自分を少しでも育てて行く努力がほしいものである。

快適な生活環境づくり

大川原が生活プロジェクト事業に着手

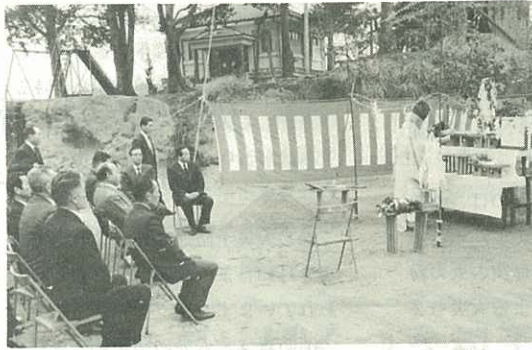
生活プロジェクト実験集落整備事業の起工式が、1月29日、竹内市長や吉田伊万里農林事務所長・前田南波多農協長など関係者約50人が出席して、南波多町大川原公民館で行なわれました。

この事業は、農家にガスや水道を引き、水洗便所などを備えて少しでも都市なみの生活環境にしようと農林省が大川原地区の農家50戸を指定したものです。

南波多農協が主体となり、ことしから2か年計画で事業をすすめ、46年度は、プロパンガスの集中配管や七曲ため池を浄水池として水道の全戸配管・水洗便所に必要な浄化そうの建設を行ないます。

47年度は、多目的共同施設として

公民館(約200平方メートル)を建設するとともに、地区内の生活道路約4,000メートルを舗装する計画で



す。総事業費は、5,600万円で、国と県が約70パーセントにあたる3,700万円を補助し、残りを市と地元が負担します。

地区内の農家では、すでにいままですべて使っていたかまどや風呂を改造したり、なかには家まで改築している農家があります。

また、南波多農協では、この事業と並行して、生産と生活の環境整備を進めるため、ほ場整備や水田の基盤整備を行ない将来は、約34ヘクタールのナシ園を造成し、観光開発にも力をいれることにしています。

みんなで選ぼう市の木と花を

ちかくアンケートを実施

市の総務課は、市民の皆さんに伊万里市の「花」と「木」を選んでいただくためにその準備を進めています。

このことは、竹内市長が年のはじめに提唱したもので、市民の総意で伊万里市の花と木を選び、自宅の庭や河川の岸辺・街路・公園などにその花と木を植え「自分たちの町」の認識を深めていただくとともに、自分たちの町は自分たちの手で美しく育てようという意識を醸成するためにもうけるものです。

ちかいうちにアンケート用紙を配

布することになっていますが、沢山の花・木の中から選び出すのはなかなか困難なため、市でそれぞれの長所や短所などをあらかじめ検討し、数種類の花と木を決めてから皆さんに選んでいただくことにしています。

なお、アンケートは全世帯を対象にすることがたてまえですが調査経費や整理のつごうなどもありますのでいまのところ抽出調査を行なう予定です。

対象になった世帯のかたはぜひご協力ください。また、対象外のかたでもご応募いただいて結構です。

塩の効用

- 野菜の青々とした色を失わないように煮るには0.5~1%の塩水でふたをしなないで煮ます。
- りいもの皮で手がかゆくなったときは、塩でもんで洗うとなおります。
- 野菜が凍ったときは、塩水につけておくのとあるていどとにかえります。
- わらびやぜんまいをゆでるには塩を少し入れた熱湯がよい。

業を目ざすのである。幸(しあわせ)という言葉がそうである。上から見て、さかさに見ても「幸」である。さつきまで笑っていたかと思うと、もうおこっている。そういう人に本当のしあわせはない。いついかなる場合でも変わらない、いや、むしろ苦しい時、悲し

テレビのコーナーに「上から読んでも山本山、下から読んでも山本山」というノリの宣伝がある。このことを聞くたびにわたしは人生観の一面がしめされているように感ずる山といえば、登山を思う登山は、汗水を流す修業なしではそう快な頂上の気分を味わうことはできない。山本山とは、そういう人生の修業の場を意味し、何を修業するのかといえば上から読んでも、下から読んでも変わらない、つまりいついかなる場合でも変わらない自分をつくりあげる修業を目ざすのである。



出火の最高はたき火

—— 昨年の火災発生状況 ——

消防署は、昨年1年間の火災発生状況を発表しました。

発生件数37件・2,870万円の損害です。45年に比べ件数では6件へつていますが、損害額は500万円以上もふえています。

月別にみると、火を多く使う1月から3月・11月から12月までの5か月間に全体の62パーセント・23件発生しています。

出火の原因をつくったのは、たき火が最も多く7件・電気コタツやマッチがそれぞれ3件・煙突の火の粉やストーブ・たばこによる火災も2件ずつあっています。

時間別では、朝から夕方にかけて間断なく発生しています。特に炊事どきの16時から17時にかけて6件と集中しています。

建物火災は、37件のうち29件で損害額からみると全体のおよそ96パーセントに当たります。37棟・22世帯89人が焼け出され、1人が死亡、10人が負傷しています。また、山火事7件・車両1台も焼けました。

発生状況を町別にみると、山代町が最高で11件・二里町と大坪地区がそれぞれ5件・東山代町と波多津町が各2件です。黒川町は昨年1年間火事はおきていません。この記録をいつまでも続けてほしいものです。

わたしたちのまわりには、電気やガス・石油など危険物がいっぱいあります。取り扱いの不馴れや不注意で大きな事故をまねきます。火の取り扱いには慎重でありたいものです。

火の始末は嚴重に

春の全国火災予防運動中です

春の火災予防運動が、2月29日から3月13日まで全国いっせいにこなわれています。

消防署は、火災の防止と火災による死傷者の発生を未然に防ぐため次の重点目標にそって予防運動を展開しています。

▷主婦のための防火教室の開催

▷たばこの投げ捨てと寝たばこの防止

▷外出時・就寝前の火元点検の励行
▷多くの人が入り出す旅館やホテル・百貨店・事務所などでの消火通報・避難訓練の実施

▷防火訓練の実施

▷危険物運搬車両や乗合自動車などの消防用設備の検査

▷病院（防火対象物）の立入り検査実施と自主的訓練の促進を図ることにしています。

運動期間中は、火に対する注意を喚起するために毎日21時にサイレンを鳴らします。各家庭・事業所などは、火の点検を実施してください。

江 湖 辻 線 の 舗 装 終 わ る

江 湖 辻 東 川

新天町の中井樋から川東に通ずる市道江湖の辻～川東線（684メートル）



▶舗装完了した江湖辻～川東線◀

ル）の舗装工事が終わりました。

昭和46年度の市単独事業で実施したもので、総工費は約350万円です。この道路は、国道202号線と並行しているため交通量も多く、重要な路線ですが、現在、新田川改修事業によって中井樋の国見台運動公園に通ずる三叉路地点の橋のかけかえ工事が行なわれているため、一部通行できません。しかし、この橋が完成すれば国道の交通緩和に大きな役割を果たすことになります。

東山代町の里～大久保線の舗装も終わりました。こんど完成したのは里小路の上方から福住付近までの間394メートルです。ここから国道までは44年度事業ですすでに舗装を終わっています。

「広報いまり」が1位

市が毎月発行している「広報いまり」が、佐賀県市町村広報紙コンクールの市の部で1位になりました。

近く行なわれる全国コンクールに参加します。

昨年10月から12月までの3か月分が審査の対象になったものです。入選できたのも市民皆さんの協力のおかげと感謝しています。これからも皆さんに親しまれる紙面づくりに努めたいと思います。

急増した低学年の非行

昨年1年間の少年非行の実態

伊万里警察署は、昨年1年間の非行少年の実態を発表しました。

罪をおかした者は119人で、前の年に比べて29人へっています。

犯罪の種類は、例年のとおり盗みがいちばん多く全体の約70パーセントを占めています。そのほか恐喝9件・傷害8件・強姦7件・暴行5件が目立っています。

学令別では、小学校30人・中学生26人・高校生14人・そのほか有職少年・無職少年あわせて49人です。前年に比べて小学生の犯罪が3倍にふえたのに対し、中学・高校生は半数以下にへっています。

伊万里警察署の管内でおきた犯罪314件のうちでも少年犯罪が約53パーセントに当たる165件発生しています。

非行にはしった原因をみると放任57人・さそい19人・好奇心16人・愛情過多8人・その他19人となっています。

家庭の経済状態は、中流家庭の子どもが圧倒的に多く全体のおよそ60パーセントを占め、下流家庭27パーセント・貧困家庭10パーセントの順で上流家庭は少なくなっています。

家出をしたものも40人ありました

前の年に比べ16人もふえています。いぜんとして女子の家出が多く、年令も16歳から20歳台の子どもが多くなっています。

また、昨年1年間に補導を受けた少年は583人です。前の年の1,079人に比べると半数ちかくにへっているものの低学年の非行が目立ってふえております。少年問題は、時代の世相をたんに示すものといわれていますが、単に非行少年のみに対する補導対策だけではなく、関係機関団体はもとより、家庭・地域社会全

体が、それぞれの立場で真剣に取り組む必要があります。特に、少年は模倣性が強いといわれます。おとなは自分の行動に責任をもっとともに十分な注意が必要です。また、非行少年を出さないためには、なんといってものたのしい家庭環境をつくるのがいちばんたいせつなことでしょう。最近、特に共稼ぎや出稼ぎなどがふえ、子どもは放任されがちです。さみしさのあまり非行にはしったり、悪友のさそいにのる事例が多いのです。子どもたちは、物質的満足より、なによりも親の愛情にうえています。親はできるだけ子どもたちとの時間をつくり、よい話し相手になることが非行防止の決め手になるのではないのでしょうか。

おにぎりぱくつき親子の対話

二里町で子ども卓球大会ひらく

第3回二里町子どもクラブ卓球大会（主催＝二里公民館・二里町青少年問題協議会）が、1月30日、二里小学校で行なわれました。

この大会は、町内各区の子どもクラブの振興と親子と親睦をはかり健全な青少年を育てようと4年前から行なわれているものです。

町内各区の子どもクラブ単位に小学生3人と中学生4人のチーム編成で、11チームが参加しました。

青少協の役員や民生委員・青年団員が世話役となり、応援にかけつけた父兄もまじって約200人の人たちが、子どもたちのすばらしいプレーに大きな拍手をおくっていました。

また、この大会のお弁当には、区長や青少協役員の皆さんがお米45キロプログラムを贈り、婦人会と女子青年団員が町内の2か所で作った約1,200個のおにぎりを子どもや父兄もいっしょになってぱくつき、おし

ゃべりをしながら楽しい一日をすごしました。なおこの催しはことしで2回目です。当日の成績は次のとおりです。

- 1位 作井手子どもクラブA
- 2位 作井手子どもクラブB
- 3位 福母子子どもクラブ

ガンの無料相談

佐賀県対ガン協会や伊万里・有田地区医師会・伊万里保健所の協力での次のとおり胃ガンや子宮ガンなどに対する無料健康相談が行なわれることになりました。

自分の健康に疑問をお持ちのかたなど、相談を希望するかたはこの機会をご利用ください。

日時 3月14日 13時～15時

場所 中央公民館



▶親も混りたのしいおにぎりの中食◀

主食にかたよる伊万里市民

食生活の実態調査から

食生活の実態調査に基づく研修会が、2月8日、伊万里市婦人会館で開催されました。

諸井伊万里保健所長や伊万里・有田・西有田3地区の婦人会幹部など約180人が参加し、於保栄養士の説明で、県婦人連絡協議会（牛島国枝会長）が、45年9月と10月の2回県内市郡の2,159世帯を対象に行なった「消費に関する実態調査」の結果を聞きました。

同実態調査によれば、1人当たり1か月平均消費支出額は、県平均が15,199円で、県内市郡では佐賀市の17,059円が最も高く、これと対照的に伊万里市は13,099円と最低を示しています。

また、1世帯当たり1か月平均消費支出額をみると、鳥栖市を最高に佐賀市・神埼郡・佐賀郡の順で、伊万里市は最低です。

農業者の職業訓練生募集

農業以外の仕事に就職を希望しているかたに次のとおり職業訓練を実施します。入学希望者は3月20日ごろまでに市農業委員会事務局にお申し込みください。

▶資格

- ・農業従事者であって他の安定した職業についていない人
- ・農業以外の仕事につきたい人

▶訓練科目と訓練校

溶接科

- ・佐賀市多布施町 県立訓練校
- ・唐津市山本 県立訓練校

左官科

- ・多久市 県立多久訓練校

▶訓練期間 6か月

▶訓練手当 月額2万5,000円程度

1世帯当たり1か月平均消費支出額の主食と副食の割合は、佐賀市の主食8.2パーセント・副食17.1パーセントに比べ、伊万里市は、主食9.8パーセント・副食16.4パーセントと比重が米やパンなどの主食にかたよる、肉や野菜などの副食が軽くみられていることがわかりました。

伊万里市が、この調査で悪い結果がでたのは、商工業やサラリーマンの世帯を対象に調査した他の市郡に比べ、伊万里市が農家世帯にかたよるすぎたことが低い結果につながった原因とも思われます。しかし、こ

のような調査結果がでた以上は、家庭の台所をあずかる主婦にとって家族の健康を考え、いま一度家計簿をみて再検討し、改善してみたいかがでしょう。

また、婦人の健康状態を調べるために血液センターの「しろはと号」で、健康に自信のある73人を対象に血液検査を実施しました。

検査の結果は、70パーセントにあたる50人が血液の比重が低く、10人は血圧などで不合格になり、結局献血に合格した人は13人でした。

市連合婦人会は、この調査結果をもとに、婦人の健康を守るため、ことしは、栄養教室や料理講習に力を入れるほか、住民検診で婦人の受診率を高めて血液の比重や血圧をよく理解したうえで、食生活の改善に積極的に取り組むことにしています。

ほしい、市民の協力

生活学校がごみの実態調査

伊万里生活学校（浜中集委員長）は、2月2日、脇田・陣内・松島や船屋・相生各町と、白野から東門造寺一帯のごみ処理の実態や桶久ごみ焼却場を視察しました。

調査の結果は、まだ次のようにいくつか改めなければならない問題などがあり、市民皆さんの積極的な協力が必要であることがわかりました。ごみ処理の実態と焼却場からの要望などは次のとおりです。

- ・不燃物やポリ容器・ビン類などをいまだに青袋に混入しているのがあった。公害防止や焼却炉を痛めないためにも絶対混入しないほしい。特に、スプレーかんは爆発がひどいので特に注意してほしい
- ・袋の結び目がゆるく、収集中にほどける袋があった。口はしっかり結んでほしい。
- ・犬や猫などに食い荒らされた袋もあった。必ず収集日に出してほしい。

い。

・残飯は、水気を十分切ってから袋に入れてほしい。

・袋収集に改善されてから、あつめたあとにごみが残らず極めて衛生的であった。



▶ごみを調べる生活学校の人たち◀

犬の飼い主は もつと自覚を

二里町住人

犬による人畜被害は新聞などで十分周知のはずなのに、いぜんとして放し飼いの犬がうろつきまわっている。

特に、発情期などは群をなして作物などを荒らしまわり、付近の住民は野放しの犬に困りはてていることを飼い主はご存知であらうか。

ある家では、保育園に通う子どもが犬をこわがるため、わざわざ親が途中まで付き添って行く人もあると聞いている。

一般に野犬といわれている犬は、本当の野犬は少なく、放し飼いの犬がほとんどではないかと思う。

わたしの部落でも、全戸の三分の一ぐらい犬を飼っているが、犬をつないでいる家庭はごくわずかであるしかし、いまのような野放しの状態では、犬害のおき

ないのが不思議といわなければならぬ。

市内では、幸い、これまでに悲惨な事故はおきていないものの、近所だからとか知り合いとかで、表面に出ない事件は数知れないのではないだろうか。

犬を飼う人は、他人の迷惑を考えて、もう少し自覚してほしいものである。近ごろは、なにかあると



自分たちの責任をよそに市や他人などに責任をなすりつけようとする。ごみやし尿の不法投棄・公共物などの破損などをたまたまこ

うしたことは、すべて住民自身がおこなった問題であり、住民自身で解決すべき問題なのに、いかにも行政が悪いのかのようにいわれている。いくら行政が協力

を呼びかけてもいつこうに見向こうともしない無責任さこそ責めるべきではなからうか。

昨年は、葉殺による野犬狩りが実施された。ことしも実施されるかどうかは知らないが、昨年は期待された効果はあがらなかったよ

うである。ということは本当の野犬ではなく、放し飼いの犬が多かったとも思われる。そういうことであれば、いくら野犬狩りが行な

われても効果があがらないのがあたりまえであり、これこそ税金の無駄使いをさせていることになる。

つなぐことですべてが解決することをみんなはなぜ守らないのだろうか。

飼い犬がなにをしようとするために、お互いの自覚と責任と努力が必要であることを飼い主はもう一度考えなおしてほしいものである。

市政モニター随時通信

◎二里町内の馬場と福母地区の人は郵便物を出すのに金武まで行っている。内の馬場にポストがあれば、ちょうど中心でもあり、部落の人が助かると思う。幸い公民館横に店があり、切手売りさばき所を併設してはどうか、なお、同地区は速達郵便区域外でもある。

【おこたえ】

内の馬場部落に郵便差出箱設置の要望がなされておりますが、実情を調査がなされており、現在のところ設置基準に達していませんのでご要望に応じかねます。あしからずご了承ください。

なお、参考までに申し添えますが福母・内の馬場部落は、大道の享便戸数に入れて、大道の差出箱を利用することで、現在、大道に設置して

おります。

郵便差出箱の設置基準は次のとおりです。

- 郵便差出箱間の距離は、250メートル以上であること。

- 享便戸数 200戸以上であること。
- 郵便差出箱のあるところから、50メートル以内に印紙・切手類売りさばき所を設置すること。

(伊万里郵便局長)

文化財の無届占有はできません

埋蔵されている文化財や地下から出土したと思われる陶磁器・石・土金属などを原料とした作品や窯跡貝塚・古墳などを掘り当てたり、拾ったりしたときは、遺失物法や文化財に関する諸法律によって、警察にその物件を届け出てからでなければ所持することはできないことになっています。自分の所有地から出土したのも同様です。

なお、最近、埋蔵したものや地上の文化財がひんぱんに盗まれています。盗難にあたり、現場を見たり

したときは、早く警察に通報するとともに、被害者は被害届を出してください。

また、文化財の発掘・調査なども事前に手続きが必要です。市教育委員会が警察に相談して違反をおこさないようにしてください。

燃えないものは
ピンクの袋に
入れましょう

向陽園に慰問あいつぐ

18年も続ける波多津町婦人会

市連合青年団婦人部（久保照代部長・34人）と市連合婦人会（代表永山松江さん・11人）は、このほど伊万里向陽園に座ぶとん18枚を贈り施設のおとしよりを慰問しました。

青年団婦人部は、将来、よき妻母となるための知識を身につけようと1月23日、婦人会の若い層をまねいて「暮らしの中の母と娘」というテーマで会を開き、スポンジやわたなどの廃品を利用して座ぶとんをつくりながら、嫁としゅうとめの問題や共稼ぎなどの意見を交換しました。

このときにつくった座ぶとんをおとしよりに贈ったものです。

代表して吉武市連合青年団長は「明るい毎日をおくっていただくためにわたしたちは、皆さんの孫の思っでつくりました。いつまでも長生きをしてください」とあいさつしました。また、1月5日には、波多津町婦人会（鶴田タイ会長・608人）が同施設を慰問し、会員から集まった餅100キログラムとみかん70キログラムを贈りました。

同婦人会は、13年前から向陽園の慰問をつづけておりおとしよりと会員の中には、長いつきあいとあってか、再会をよるこび目がしらをそつと押える光景もみられました。

なお、暮れから正月にかけて向陽



▼慰問する市婦人会と青年団員▲

稚内沖海難事故

匿名の贈り主は江頭さん

知人からの知らせでわかる

北海道稚内沖の海難事故で遭難したかたの遺族あてに、匿名で見舞金を贈った主は、大坪町下古賀の江頭フミさん（52歳）であることが知人からの知らせでわかりました。

このことは、さきに見舞金を受け取った稚内市長や遭難者の出身地である岩手県久慈市長から伊万里市長

にあてた礼状でわかったのもで、広報いまり2月号にこの次第を掲載して贈り主をさがしていました。

わたしたち伊万里市民は、江頭さんのあたたかい心情にふれ、ただ敬服するばかりありません。また、稚内久慈両市民の皆さんをはじめ、ご遺族のかたがたも、さぞかし感謝いただいていることと思います。

消費者通信

靴下の選び方

靴下を選ぶときは、実用向（通勤用など）・防寒用・スポーツ用などがありますが、用途を十分考えて買ってほしいものです。

例えば、ナイロン100パーセントは強いが吸湿性がなく、毛100パーセントは保温性が高いが縮みやすい欠点をもっている。

通気性がよいのは防縮加工品・ポリエステルと毛の混紡・麻または綿とポリエステル混紡などがある。

代金の支払方法が変わります

4月から市の会計を伝票式に

4月1日から市の会計を伝票会計に改めます。会計事務を合理化して能率化するために改めるものです。

ただし、伝票方式は昭和47年度の債務から適用します。したがって、昭和46年度分（昨年4月1日からとし3月31日まで）については従来の請求書用紙を使用してください。

請求伝票は、請求書兼口座振替申出書（本人控及び市用）・債権者と

金融機関への口座振替通知書など5部複写になっていて、債権者のかたが請求していただくと、市が自動的に債権者の口座へ振込むしくみです。ですから、市に代金請求をされるときはあらかじめ、自分の希望する金融機関に、預金口座を設けていただく必要があります。

なお、この伝票会計になると従来の窓口払いはなくなります。

守ろう交通安全の誓い

大坪小学校で親子交通教室

大坪小学校（井手東太郎校長・生徒数 770人）で、2月16日、親子交通教室が開かれました。

同校は、すぐ前を国道 202号線が通り、危険なところ。子どもたちばかりでなく、親も交通安全知識を身につけようと開いたものです。

また、この学校区は昭和46年度の交通安全モデル地区として県の指定を受けており、昨年12月7日には町をあげて交通安全総ぐるみ大会を開いています。

大坪小学校でも、すでに6か条の「交通安全のちかい」を全生徒に配り、みんなで守ることにしています

交通教室は、全生徒が2班に分かれて講堂に集り、親といっしょに伊万里警察署員などから交通ルールなどを勉強しました。また、父兄を代表して下古賀の江頭フミさんが、自分の不注意で交通事故にあった体験談を方言を交えて発表、交通事故の恐ろしさをうったへました。子どもたちの代表も、それぞれ自分が事故に



会った体験や事故を見た感想などをのべ、最後に全生徒で交通安全のちかいを朗読して再認識するとともに普通の信号機と同じように造った模擬信号機を使って横断のしかたを勉強しました。

広域圏のまちを訪ねて

(6) 大島村

進められる農漁業と観光開発

平戸口から度島を左手にながめながら「大島丸」に乗り、およそ40分が島の玄関、神ノ浦港につく。

島は、濃い松の緑におおわれ、東西8キロメートル・南北4キロメートルあまりで、周囲約30キロメートル。リアス式海岸が美しい島である島の中央から四方に急傾斜の丘陵が広がり、平地に乏しく、耕地は傾斜に沿って階段状に開け、ピラミッドを形成している。

人口は、およそ 3,200人。長崎県下で最も人口の少ない村である。

この島の歴史は古い。村の天降神社は万寿2年（西暦 1,025年）の建立といわれる。また、本山神社は更に古く 1,000年あまりを経ているという。島には多くの貝塚があり、縄文式土器や弥生式土器、石棺などがいたるところで発掘され、古くからこの島に人が住んでいたことが明らかにされている。平安時代には、遣唐使や遣唐使の船が寄港し、大陸交

通の島として栄え、また、室町・足利時代には倭寇の根拠地でもあったといわれ、倭寇に伝わる古跡が残っている。



島の基幹産業は、農業と漁業である。農業は、自然の悪条件にもかかわらず、古くから田・畑が階段状に開かれ、島全体の約4割が耕地である。

しかし、引き続き米の生産調整はこの島に大きな痛手を与え、労働力は次第に流出しており村では養蚕を取り入れて農業経済の立て直しを図ろうと努力している。

漁業は、戦後の乱獲などで沿岸漁

業は次第に不振をかこい、一本釣りの漁業から定置網や磯立網にかわり年間1億円余の漁獲高をあげているという。将来は、真珠やハマチなどの浅海養殖を積極的に進め協業化を図る計画が進んでいる。

村民の生活に直接関係のある医療施設は、民間委託の診療所があり一人の医師が保健衛生全般を処理している。水道は、ため池や地下水を利用した簡易水道で、70パーセントでいどの普及率である。いっぽう教育は、小学校1校1分校・中学校1校がある。ここで特筆されるのは猶興館高校の分校が設置されていることと、15年ほど前から三味線学校が開かれるとることである。島の財政をみると決して豊かでなく、自主財源はおよそ12パーセントでほとんどが国や県の財政援助にたよっている。

北松県立公園の一角である大島はいたるところ玄海の荒波によって自然にできた美しい岩や断崖がそそりたち、島全体が松の緑におおわれている。また、秘められた観光地でもある。これからの開発によって美しい自然を魅了できる観光地として発展していくことであろう。

引揚者特別交付金
請求期限は今月末日

引揚者の特別交付金請求期限は3月31日です。まだ請求していないかたはハヤメに市福祉事務所に相談のうえ、手続きをしてください。

特別交付金の請求ができるのは終戦の日まで引き続き1年以上外地に生活していて、終戦のため引揚げたかた・外地または引揚げ途中で死亡したかたの遺族です。

本人が死亡しているときは、死亡者の相続人の名前で請求することができます。

妊 婦 検 診

▷日時と場所

3月14日 9時30分～12時

波多津町小島医院

13時30分～15時

東山代町内山医院

新 入 学 児
種 痘 予 防 接 種

▷対象者 小学校に入学する児童

▷日時と場所

3月10日 波多津小学校

13日 大川内小学校

※時間 13時30分～14時30分

船の持ち主はどなた？

昨年12月20日ごろから、瀬戸町牧島の静波荘付近の海岸に長さ約6メートル・白塗りのテントをかぶせた機械船がつないであります。しかし、錨が軽いため船が移動してちか

くにつないである船に接触したり管理が不十分なため機関室に海水がはいっています。持ち主のかたは他人に迷或をかけないように十分管理してください。

障害児を市民ぐるみで
守り育てましょう

伊万里市は、文部省から「特殊教育推進地区」として2か年間の研究を指定され、さる12月3日、市民会館でその研究成果の発表会を開きました。

この研究発表会のためには市教育委員会・小中学校をはじめ、福祉事務所や各種団体・市民の皆さんが一致協力していただいたおかげで多大の好評をうけました。

県内各地はもちろん、県外から出席された多数の参加者も伊万里市の特殊教育のありかたに感心して帰られたようでした。

しかし、2か年の研究では、なお残された問題がたくさんあります。こんども更に3年次・4年次と強力に推進していかなければならないと思います。

市民の皆さんも、特殊教育に関するいろいろな話も聞かれたろうしました、広報いまりに今回まで13回にわたって「特殊教育」を掲載してまいりましたので、特殊教育に対する理解と認識を得られたことと思います

今日、小中学校児童生徒のうち心身障害のため特殊教育を必要とする



ものが4パーセントぐらいいるといわれています。

人は、誰でも教育をうけ、りっぱな社会人として幸福な人生を送る権利があります。したがって、この不幸な障害児にも適切な教育をほどこし、将来しあわせな生活ができるようにしてやるのが特殊学級あるいは養護学校です。

市特殊教育推進協議会の判別委員会は、各種の方法による精密検査や医師の診断などによって判別を行ない、特殊学級への入級や養護施設への入園措置を要する子どもを判定しています。

ことしも相当数の子どもが判別を受けました。現在、それぞれの学校で父兄のかたと就学相談を行なっています。子どもの将来を考え入級を

承諾していただいた父兄もありますが、いろいろな理由で拒否されるかたもあるということです。親として無理もないと思いますが、真に子どもの将来を思えば、子どもに最も適した教育をほどこすべきではないでしょうか。

なお、市は、福祉協議会・小中学校連合PTA・小中学校長会・特殊教育研究部会の発起で、恵まれない子どもに援助の手をさしのべ、正しい教育と福祉対策によって希望の光を与えようと、去る1月21日、「心身障害児育成協議会」の結成総会を開きました。この趣旨にご賛同いただいたかたはおおよそ1,000人にもおぼりました。どうか市民の皆さんも総ぐるみでこの子たちのしあわせのため特殊教育への理解とあたたかいご協力をお願い申し上げます。

市特殊教育推進協議会

啓発委員 池田虎次郎

「特殊教育」は、昨年4月から13回にわたって掲載してまいりましたが今回で終わらせていただきます。

特殊教育の重要性を十分認識いただいたことと存じますが、こんごともなおいっそうご援助、ご協力いただくようお願い申し上げます。

小学生の部は大里が独占

スポーツ少年団剣道大会ひらく

伊万里市スポーツ少年団第2回剣道大会(主催=市体協・市教委・市スポーツ少年団)が、2月11日、伊万里農林高校で行なわれました。

市内のスポーツ少年団が、スポーツを通じて団の融和と組織の強化をはかり、心身ともに健康な少年を育てようと開いたものです。

大会には、12団・208人が参加し日ごろ鍛えた技を十分に発揮しました。

成績は次のとおりです。

▷団体

(小学校低学年の部)

- 1位 大里剣道スポーツ少年団

- 2位 大坪剣道スポーツ少年団

- 3位 福住 (小学校高学年の部)

- 1位 大里剣道スポーツ少年団

- 2位 大坪
- 3位 福住 (中学校の部)

- 1位 大坪剣道スポーツ少年団

- 2位 牧島
- 3位 松浦
- ▷個人 (小学校低学年の部)

- 1位 野中 雅幸(大坪)
- 2位 牧瀬 光之(大里)
- 3位 力武 善也(〃)



(小学校高学年の部)

- 1位 牧瀬 義昭(大里)
- 2位 福山 健司(大坪)
- 3位 田口(福住)

(中学校の部)

- 1位 石井 三博(牧島)
- 2位 川久保千寿(久原)
- 3位 田中 洋二(大坪)

(小学校女子の部)

- 1位 杉本 好江(福住)
- 2位 田中ミチヨ(〃)
- 3位 高藤 文子(久原)

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

▽香典返しを寄付

- 〇谷口道生(松浦町山形)
- 亡父(徹治)
- 〇東利雄(脇田町岩立)
- 亡父(松一)
- 〇江口卓三(大川内町市村)
- 亡母(リエ)
- 〇福川俊一(黒川町大黒川)
- 亡長女(千代美)
- 〇多久島徳次(東山代町長浜)
- 亡兄(嘉平次)
- 〇柳本繁春(黒川町畑川内)
- 亡父(静馬)
- 〇中島孝行(大坪町上古賀)
- 亡祖母(ムス)
- 〇山口茂尚(黒川町真手野)
- 亡母(ミス)
- 〇浦田成雄(松島町下松島)
- 亡母(ヤス)
- 〇橋口ツヤ(山代町浦の崎)
- 亡夫(三作)
- 〇古賀寿夫(東山代町長浜)
- 亡父(源太郎)
- 〇山口美代治(木須町木須)
- 亡母(テイ)
- 〇前田三郎(山代町浦の崎)
- 山田香方 亡母(ケサ)
- 〇泉貞子(伊万里町立町)

亡母(中野スガ)

〇木須保夫(木須町木須西)

亡母(サト)

〇浦川末次(二里町内の馬場)

亡母(ワイ)

〇山口達雄(大坪町六仙寺)

亡長男(雅俊)

〇瀬戸口ヤ(新天町向坂)

口 亡夫(未松)

〇松岡新一(木須町木須西)

亡義父(横田砂雄)

〇黒川実雄(瀬戸町本瀬戸)

亡父(繁一)

ありがとう



ありがとうございました

〇四百七十円 匿名

〇式千円 山口しず江(松浦町下分 成人内祝金を)

〇老百円 匿名

〇老万円 松原正市(松島町 老人ホーム資金へ)

〇五百円 匿名(伊万里警察署経由)

〇老百円 匿名

(累計二万八千四百三十五円)

教育振興奨励基金へ

▽香典返しを寄付

〇川久保龍郎(東山代町日南郷 亡父(三郎))

〇久地浦岩一(東山代町天神 亡父(卯八))

〇古賀寿夫(東山代町長浜)

亡義父(源太郎)

〇松本慶明(波多津浦)

亡祖母(ヤス)

〇田中秀男(新天町)

亡父(貞吉)

〇橋口輝美(木須町木須西)

亡母(セキ)

(累計八万八千九百七十九円)

交通遺児対策費へ

▽篤志寄付

〇老万八千六百六十五円 伊万里市職員組合青年部(婦人部) クリスマスパークイ

ーのりの募金などを

(昭47・2・18現在)

こどもページ

ちゅうごく つた 中国から伝わった ひなまつり



3月3日は「ひなまつり」。べつにこの日のことを「桃の節句」ともいいます。女のお友だちにとってこの日はたのしい日ですね。

この日は「だいらびな」や「五人ばやし」など、たくさんお人形をかざり、ごちそうをそなえてみんなでお祝います。

ひなまつりは、もともと中国からわたってきたもので、日本でさかんになったのは徳川時代からだといわれています。そのもつと昔は、3月のいちばんはじめにくる巳の日（昔は十二支といって時刻や日にち・方向をさすのに、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥というように12のこつばをつかった）に当たる日えんぎの悪い日とされていて、うらない師から人形をもらってからだをなで、そのあとおほらいをして人形を川に流せば、からだのけがれが人形にうつると信じられていたようです。

それから、しだいに習慣がかわって、人形はお寺にそなえて厄よけの役目をするようになり、それからさ

らに家のタナなどに人形をかざって酒やごちそうをそなえるようになりました。

このように、はじめは信こうのためにつくった人形も、平安時代にはひな人形をかざって遊ぶようになりました。室町時代になると夫婦のひな人形をかざり江戸時代になってから、だいらびなやごしょびな・五人ばやしなど、きれいな人形をかざるようになり、さいきんつくられている人形にた形になってきました。ところで、ひなまつりには、よもぎをつかった草もち

や、もも・白酒・はまぐりなどをそなえます。このそなえものを「せちもの」といい、ひとつひとつにそれぞれ意味があります。

「もも」は、もゆみ（もえる実）といわれ、陰気をはらう木とされています。ちょうど節句が桃の花のさかりにあたることから桃の花をそなえて病気や不幸をはらうものだとされています。

「白酒」は、桃の花に白色がないので、桃色にたいして白い酒をつかい、赤と白でお日さまと、お月さまをまつる意味だそうです。

「はまぐり」は、女が結婚したらけっしてほかの男の人といっしょにならないという意味でそなえます。

はまぐりは、何万個あつても自分のフタでなければ合わないことからつかわれたものです。

さて、3月3日は女の節句でしたが、5月5日は男の節句です。この日のことを「端午の節句」といっています。「端午」というのは、月のはじめの午の日のことで、ふつう5月5日をさします。

この行事も中国から伝わったものです。中国では、大昔、5月は悪い月とされていて、午の日はとくにきらいました。だからこの日になるとよもぎで人形をつくり、自分の家の門口にかけて病気やさいなんをおいはらう行事が行なわれていたようです。

このならわしが日本に伝わったのは、奈良時代といわれていますがさいきん行なわれているのは江戸時代にはいつてからのものだとされています。

端午の節会（えん会）は、武士をとうとび、うやまう行事として徳川幕府の年中行事にくまれ、もつとも大きな行事でした。

5月5日には、大名が江戸城にあつまり、將軍にお祝いのこつばをのべ、ちまきやかしわもちを献上（さしだすこと）しました。

また、ふつうの家でも、これにならって、しょうぶ湯にはいたり軒にしょうぶをさし、あやめ酒をのんだり、かしわもちをたべたりしました。また、7歳から下の子どものいる家では、鯉のぼりを立て、赤ちゃんが生まれてからはじめての節句には、武者人形などをおくって祝うようになりました。さいきん、どこの家でも立てる吹き流しは、昔は武士の家だけが立てていたようです。

このように、さいきんさかんに行なわれている「ひなまつり」や「端午の節句」は、何百年という長い時代をすごすうちに、行事の方法などもいくらかずつ変わりながらうけつがれてきたものです。